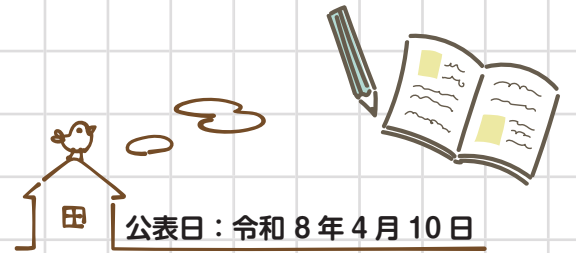


令和7年度

# COMPASS 諫早 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年4月10日

○事業所名	COMPASS諫早		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～ 令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～ 令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月10日		～ 令和7年10月11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 4施設	(回答数)	4施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有を行っております。 これにより、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内でも定期的な勉強会を実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などを行い、職員の更なるスキルアップに努めてまいります。
2	ご家族様との連携を重視し、日々の活動の様子や出来事、成長を共有できております。	電話や対面であるべくその日のうちに保護者様に訪問時の様子を共有するとともに、後日訪問時の様子などを詳しくまとめた報告書を作成し、ご家族様や訪問先と共有しております。	今後も不安なことや困りごと、また事業所への要望がないかなどについて、定期的に聞き取りを行い、ご家族様に寄り添った支援につなげてまいります。
3	多機能型の事業所として、児童発達支援と放課後等デイサービスと併用して訪問支援を利用することができております。	通所利用時の様子を把握することができているため、児童一人ひとりの特性を深く理解し、より多面的な視点からアプローチをおこなうことができました。	今後もよい支援が提供できるよう、訪問支援に関わる職員だけでなく事業所の全職員での話し合いを充実させ、常に課題を意識し、工夫を重ねながら支援の質を向上させるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等を開催する等の保護者様同士で交流する機会を設けることが現在できておりません。	コロナ以降、感染拡大防止や保護者様の就業状況の観点から、保護者様同士での交流会の開催は控えている状況となっております。	今後は保護者様のご意向を把握したうえで、必要に応じて開催を検討してまいります。
2	保育所等訪問支援の経験が不足している点が課題となっております。	保育所等訪問支援事業の初年度であったため、手探りの中で事業展開を行ってまいりました。	今後は研修に積極的に参加し、情報交換を行い、助言を受けることで、よりスキルアップに努めてまいります。
3	訪問先施設との対面による連携が十分に行えていない状況となっております。	訪問支援に対する理解の程度は訪問先によってさまざまであり、事前にパンフレットを用いて趣旨について説明を行っておりますが、訪問先のご都合もあり、趣旨や必要性について十分にご理解いただけていない場合があると感じております。	保護者様が希望された場合は、滞りなく訪問支援利用につなげられるよう、支援の質の向上や訪問先へ事業の趣旨についての周知や連携の強化に努めてまいります。

